

2545 21.6.1 for [redacted]

87431

(甲)

未帰還者等の番号

入射波 $\frac{dI}{dt}(\text{W/m}^2)$

水兵長

東

疏
三
十
年
上
月
三
十
日
一
〇
〇
〇

弘治丁未年

火
節
山
ノ
鳥
ノ
ノ
ノ
ノ
ノ
ノ

7-11-50

卷之六

藏石死靈

[illegible]

裏面に数上の注文を見せ給ひ、正しといふ。又、同の書簡には、正しとある。

死後
著
歸
傳

熙寧二十一年六月甲寅

同治二十二年四月十一日

氏	所	親	卒
名	為	任	任
	所		
方市遺德隊司令部付			
入	官		
給	給		
	止		
	水		

三

（本報）ハ即ニ長久ハ三版紙張ニ於テ長キ方以テ同人等即身死遊蕩シテ入リ得ル也

スルルル

士言、下士言、六二何配、

白馬の一人、鎧を脱ぎ、二馬に干矢を射、

[illegible]

內廷付先

12

吳華

天斯方但為國人所知也

小恙愛家孝友故人小兒莫軒兄確認之

(甲)

朱 冊 題 者 等 の 番 号

折居復負者之為夙夜のたまたま方々感謝隊
いそぐ所ありあす

按而小生たる四月一日浦賀に比島ルソノ島より
復負隊ありある次第にて早速旧部下の留守
宅に對し戦死せる旨手紙せし然今お商局より
何んの通知もあらずとる事にて去る二十二年
十二月中隊長長[]中尉(佐鎮)復負の折に
いふ急整理方依頼隊一置きわしむるも此の務に
ては今お未整理の事と推察されあす故に急
にけり整理トさる称上官とて旧部下の為は願
い隊一あす

記

第十一回 吳防(昭和十九年四月廿五日館山編)
主計科負名簿

8/10-10

但し死七者ノミ

官等氏

名記

事

平

[Redacted]

本入ハ上ノ大月甲午北島東海岸山甲
ノ作戦中ノ内隊逃セシタルニ其後
リヲノクメ殺害サレ居ルヲ大隊長
大尉確認ス

平

[Redacted]

昭和二十年二月十一日マニラ外ニエテス
北列下戦死ス此ノ(戦友確認也)

平

[Redacted]

昭和二十年八月十四日北島東海岸山甲
ハガエタルガニ於テ胸傷ヲ受ケテ合併症
ニ依リ戦病死ス官確認也

一

[Redacted]

昭和二十年六月二十九日北島東海岸山甲
宿ニ清水谷ニ於テアメリハ赤痢ニ因リ戦病
死(戦友確認也)

主

長

昭和二十年七月二十八日北島東海岸山甲
ハガエタルガニ戦病死ス左足部負傷ニ
創ガ原因ニテ入院アリハ赤痢ニ依リ
戦病死ス生年梅澤

主

[Redacted]

昭和二十年七月二十八日北島東海岸山甲
山中ニテ戦病死ス生年不明

等級ハ編成當時ノミ

一ノ底ハ北非也

南本付処理に因し、手教士からうけ報
下きりある様は、願ひ降しある

四月三丁

敬具

人事部長 殿

4/10

21.2.15 公表

年 月 日	地 方	職 名	職 階	備 考
昭和二十一年二月十五日	東京府	警務課長	警視正	（本職）
昭和二十一年二月十五日	東京府	警務課長	警視正	（本職）
昭和二十一年二月十五日	東京府	警務課長	警視正	（本職）
昭和二十一年二月十五日	東京府	警務課長	警視正	（本職）
昭和二十一年二月十五日	東京府	警務課長	警視正	（本職）
昭和二十一年二月十五日	東京府	警務課長	警視正	（本職）
昭和二十一年二月十五日	東京府	警務課長	警視正	（本職）

[illegible]

死 亡 現 認 證 明 書

陸・海・邦

者 供 提 料 資		者 亡 死																											
法方たつ知を亡死		遺留品の処	遺骨及び遺骸の処理	元 (死亡事由 (傷病名))	諸 死亡場所	亡 死亡日時	死 死亡区分	発病場所	発病時期	区 分	本 籍 地	開戦時の住所 (在留地)	所 属 (所 轄) 部隊又は職 域 名	有 固 通 称	所 属 部 隊	地 区 局 面	種 兵	種 役	死亡時の階級 (原職名は又)	名 氏	年 月 日生	女 (男)							
同一戦地におり同行 動と知られた		なし	不明	敵の砲撃	バヨホン地区ブラオ部落東	昭和二十年七月二十一日	※ 戦 死			内			三一通信隊	三一通信隊	三一通信隊	※ バヨホン地区	水	一神元	氷 長										
係関のと者亡死												属 所 部 隊		面 局 区 地		種 兵		種 役		死亡時の階級 (原職名は又)		名 氏		年 月 日生		女 (男)			
同一部隊 中に参加																													
所 住 現												統 柄 (妻)		死亡当時の状況及び参考資料		ブラオ部落東方陣地におり米軍と対峙 中予前二時頃集中砲火を受け陣地に つたまま戦死													
部 所 属 域 隊 轄												者 当 担 守 留		名 氏 所 住 現		統 柄 (妻)		死亡当時の状況及び参考資料											
三一通信隊												名 氏 所 住 現		統 柄 (妻)		死亡当時の状況及び参考資料													
(名職) 級 階 氏												名 氏 所 住 現		統 柄 (妻)		死亡当時の状況及び参考資料													
												名 氏 所 住 現		統 柄 (妻)		死亡当時の状況及び参考資料													

裏面記載上の注意を見ておいて下さい。(察及び裏面の各欄は記載に及びません)



書 明 證 認 現 確 亡 死

邦・海・陸

者 供 提 料		者 亡 死												
法 方 た つ 知 を 亡 死		理 遺 留 品 の 処	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	元 死 亡 事 由 (傷 病 名)	諸 死 亡 場 所	亡 死 亡 日 時	死 死 亡 区 分	死 病 場 所	死 病 時 期	区 分	本 籍 地	開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)	部 隊 又 は 職 名	通 有
同 戦 地 域 に お いて 同 一 行 動 と し て 知 ら れ		なし	不明	敵 の 砲 撃	バ ヨ ン ボ ン 地 区 ツ ブ ラ オ 部 落 東 方	昭 和 二 十 年 七 月 二 十 日	※ 戦 死						第 二 通 信 隊	属 所
係 関 の と 者 亡 死													面 局	
所 住 現				※	※	※	※	※	※	容			種 兵	
部 隊 所 属		死亡当時の状況及び参考資料 ツ ブ ラ オ 部 落 東 方 陣 地 に お いて 米 軍 と 対 峙 中 千 前 二 時 頃 集 中 砲 火 を 受 け 陣 地 に つ い て ま だ 戦 死												
(名 職) 級 陸 名 氏		者 当 担 守 留 名 氏 所 住 現 続 柄 (妻) 死 亡 当 時 の 状 況 及 び 参 考 資 料												
二 通 信 隊		水												
		水 兵												
		名 年 月 日 生												
		女												

2.502

2167

記事

瑞惠

略歴

本籍地
生年月日
職
現任所

第百三海軍工務部現地採用工員調査

調査員 佐藤 哲

(西王)

本籍地 [redacted]
生年月日 [redacted]
職 [redacted]
現任所 [redacted]
(妻) [redacted]

採用前

[redacted]

佐藤

採用年月日

第百三海軍工務部現地採用工員調査昭和十九年十月五日(採用)

給料(日給)

昭和十九年十月五日(採用)昭和十九年十月五日(採用)昭和十九年十月五日(採用)

戦時

昭和二十年七月(採用)昭和二十年七月(採用)昭和二十年七月(採用)

戦場

北緯度 廿五度七十分

戦時

死(採用)昭和二十年七月(採用)昭和二十年七月(採用)

戦時

死(採用)昭和二十年七月(採用)昭和二十年七月(採用)

戦時

死(採用)昭和二十年七月(採用)昭和二十年七月(採用)

戦時

死(採用)昭和二十年七月(採用)昭和二十年七月(採用)

戦時

死(採用)昭和二十年七月(採用)昭和二十年七月(採用)

戦時

死(採用)昭和二十年七月(採用)昭和二十年七月(採用)

戦時

死(採用)昭和二十年七月(採用)昭和二十年七月(採用)

(内五篇)

1714

[illegible]

(川内島)

165

7371
552.529

21-7-15 公春

[illegible]